

平成28年度 生活習慣病重症化防止研修会を開催しました！

安足健康福祉センター管内は、人口10万人当たりの糖尿病の初期・安定期治療を受けている患者数が県内で最も多い状況にあります。(栃木県保健医療計画(6期計画)より)

糖尿病患者の合併症予防・重症化防止のためには、支援者側も病態や疾患管理に関する正しい理解をするとともに、患者一人一人の生活背景を捉えながら行動変容を促していくことが必要です。

今回、糖尿病患者の重症化防止のため、患者への支援を行う看護師・管理栄養士(栄養士)・薬剤師・保健師・ケアマネジャー等が疾患管理について理解を深め、実践的な指導方法を学ぶことを目的とした研修会を開催しましたのでご報告します。

1. 日時 平成28年9月29日(木) 14:00~16:00
2. 場所 安足健康福祉センター2階 大会議室
3. 参加者数

保健師・看護師	管理栄養士 栄養士	薬剤師	介護支援 専門員	その他	計
24	21	12	36	2	95

4. 内容

○講演 「糖尿病合併症予防のための治療と指導の実際」

長崎病院 内科 千葉 泰子先生(日本糖尿病学会専門医, 日本糖尿病学会研修指導医)



糖尿病の合併症(急性合併症・慢性合併症)に関する解説や血糖コントロールの目標、食事療法・運動療法・薬物療法など長崎病院で実践している指導の実際も交えながら講話をいただきました。

○実践例紹介 「対象の生活背景を捉えた指導方法について～管理栄養士・薬剤師の立場から～」

足利赤十字病院 栄養課 樋桁 千恵子 先生(糖尿病療養指導士)



事例報告をもとに、これまでの食習慣から問題点を明確化し、行動変容ステージのどの段階に該当するか見極めながら支援を実践していることをご報告いただきました。

長崎病院で実践されている入院及び外来における服薬指導の紹介、外来患者360名を対象とした聴き取り調査の結果についてご報告いただきました。

長崎病院 薬剤部 金子博 薬剤師(糖尿病療養指導士)

